

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	農業技術センター	氏名	錦織 秀
派遣先 団体名	出雲市 鳶巣コミュニティセンター		

① 研修の日時

日 程	午 前	午 後
7月11日（金）	幼稚園・小学校のふるさと学習 （そうめん流し）8:30～ 準備、イベントを通したふれあい	幼稚園・小学校のふるさと学習 （そうめん流し）～14:30 片付け、反省会等
7月27日（日）	鮎のつかみ取り体験 8:30～ 準備、イベントを通したふれあい	鮎のつかみ取り体験 ～17:15 イベントを通したふれあい、片付け
7月30日（水）	夏季青少年修養の集い 8:30～ 準備、集いを通したふれあい等	夏祭りの準備等 ～17:15 準備、月報等配送準備等
8月20日（水）	夏休み学習広場 8:30～ 準備、勉強を通したふれあい等	鳶巣はっぴートレーニング ～17:15 準備、トレーニング、片付け等
9月 9日（火）	幼稚園作法教室 8:30～12:00 準備、教室を通したふれあい等	
9月17日（水）		モデル公民館訪問研修13～17時 研修を通したコミュセン活動の把握
10月26日（日）	ふれあい音楽祭、文化作品展8:30～ 準備、文化祭を通したふれあい	文化作品展 ～17:15 文化展を通したふれあい、片付け

② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。）

将来の鳶巣地区の担い手である園児や小学生に対し、鳶巣コミュニティーセンターが子たちの豊かな育ちや学びを支えるためにどのような支援をされ、いろいろな活動を通した地域やふるさとの良さや愛着を子供たちにどう持たせているのかをこの貴重な体験を通して研修していきたい。

【7月11日（金）】

◆年間を通したふるさと学習「竹の学習」の一環として、北陽小学校3年生と鳶巣幼稚園において「そうめん流し」を実施。

○地元の山から竹を切り出し、そうめん流し用に加工するのは地元の「鳶巣竹工房」の方々で、また小学生の箸は、竹工房さんの指導のもと、自分で作ったマイ竹箸で流しそうめんを食べることができ、子供達は地域の人たちに支えられ大事に育てられていると感じました。また、子供たちが

竹を切ったり、流しそうめんを食べたりして楽しんでいる姿を見て、心が和んできました。中学生になってもこのイベントを覚えている学生もいることを聞き、ふるさとを想う心が育むことに繋がっていると感じました。

【7月27日(日)】

◆島根県体力向上プロジェクト事業の一環として、乙立町のわかあゆの里で「鮎のつかみ取り」を実施。

○幼稚園愛育会と鳶巣コミュニティセンターが協働して実施し、体験の場を提供することで、親子の絆を深めてほしいと願う活動でした。

親子とのふれあい、自然とのふれあい、子供たちにとって夏休みの楽しい思い出、そして、楽しい思い出が一瞬の不注意で悲しい思い出にならないようにしっかりと子供たちの見守り等コミュニティセンターの役割の重要性等いろいろな事が学べ、楽しい研修でした。

【7月30日(水)】

◆出雲仏教会が主催し、地区コミュニティセンターが後援している「夏季青少年修養の集い」が午前中に鳶巣の玉泉寺で開催。午後は夏祭り等準備。

○お寺で子供たちが騒いでいると余計に暑く感じられましたが、座禅をするとシーンとなり、叩かれる(警策(きょうさく))の音がすると余計にびびって姿勢を正す子供たちを見てかわいいと思うとともに、たまには子供たちに精神修養も必要と思いました。

また、午後は夏祭り準備のため、ベランダにあるゴーヤを撤去し、花壇を作る作業は地域の皆さんが協力して手際よく作業をされる姿を見て、鳶巣コミュニティは地域の方に愛され、大切にされていると強く感じたところです。

なお、住職の話の中で、日常生活の中で「足るを知る」と説明され、この考え方は私が現在普及活動している有機農業にも通ずるものとして共感しました。

【8月20日(水)】

◆午前中は「夏休み学習広場」、午後は「はっぴートレーニング」を鳶巣コミュニティセンターで開催。

○午前中の学習広場ではOBの先生方がボランティアで地域の子供たちに教えておられるほほえましい光景が見られましたし、また感想にはどの子も「楽しかった」と書いてあり、子供たちにとってはみんなと顔を合わせることでできる楽しい行事として位置づけられていると感じたところです。

午後のはっぴートレーニングは、退職前の50代、60代をターゲットとした地域へ参加されるきっかけ作りのために始められた運動教室で、取組み半年後には自主運営に移行されているとのことでした。また、60代後半から90代は木曜日に「いきいき健康教室」が開催されており、普段の運動が災害時に自分の命を守り、自力で逃げる事が出来、隣人を助けることが出来る体制作りにつながることを感じました。

【9月9日(火)】

◆幼稚園とコミュニティセンターが協働で幼稚園作法教室を開催。

○年少、年中、年長になるに従って茶道の動きや作法が型になっていることや部屋を出て行くときの挨拶がきちんとしていること、そして、どの学年も思った以上に静かで真剣に取り組んでおり、

鉄は熱いうちに打てではないですが、小さいうちから作法を身につけることは非常に大事なことが分かりました。

また、ボランティアの地域の方々優しく子供たちを見守り、それに対し園児達が元気よくお礼の挨拶をする姿を見て、地域で子供を育てることがいかに重要なことかを実感しました。

「地域の子どもは地域で育てる。」という考えで事業を進めておられ、それが必ず子供達のふるさと鳶巣を愛する心に繋がるものと願っています。

【9月17日(水)】

◆「実証！「地域力」醸成プログラム事業」でのモデル公民館訪問研修(東部)が鳶巣コミュニティセンターで開催。

※「実証！「地域力」醸成プログラム事業」とは:公民館が培ってきた「地域力」醸成のノウハウをモデル公民館の具体的活動を通じて実証することにより、「地域力」の重要性について世論喚起することを目的とした島根県の助成事業。

○研修会では鳶巣コミュニティセンターの山崎チーフのすばらしい発表を聞かせていただき、コミュニティセンターの活発な事業活動や協働の様子がよくわかり大変参考になりました。

事例研究の最初の3分間にチーム内で話し合ったことは、子供が生まれる前から子供とその親を取り込んで事業に参加してもらい、活動を通してみんなの心が繋がり絆ができてくる。これはコミューンのセンター長を始めメンバーの方々とは住民との信頼関係が築かれているためできることなのではということで、話し合った皆さんが感心しておられました。

地域の課題から目標を定めそれを達成するための事業や活動を実施するというシステムは、どこの職場でも行っていることですが、課題を適切に捉え、それを実現のするための目標を決め、それに向けて全員が意識し、行動に移すことが重要であることを再確認したところです。

【10月26日(日)】

◆秋の鳶巣まつりの一環として午前中に「ふれあい音楽祭」が開催。午後は「文化展」の鑑賞と片付け。

○午前中の「ふれあい音楽祭」はその名の通り地域の方々とのふれあいの場であり、非常に楽しい音楽会でした。出雲北陵中学・高等学校 弦楽部の皆さんの素敵な演奏でスタートし、鳶巣幼稚園児さんのかわいい姿と元気いっぱいの歌声に会場はあったかい気持ちに包まれ、出雲北陽小学校、出雲第三中学校の合唱、地元の方が所属されるTORIO・kawa TO BISUさんのすばらしいアンサンブル演奏に魅了され、学園のまち鳶巣にふさわしい素晴らしい音楽会でした。

文化展では、地区の皆様の集大成、力作がたくさん展示されました。盆栽展でも愛情込めて育てられた素晴らしい作品が展示されました。この日は地域の力を感じた一日でした。

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

この研修は、のべ7日間という短い期間でしたが、毎回、センターの職員の方や地域住民の方々が暖かく受け入れてくださり、楽しく研修を終えることができました。ありがとうございました。

子供とセンターとのつながりを目的に研修に臨みましたが、施設的な環境(幼稚園がセンターに隣接)もあり、幼児の頃から身近なセンターとして浸透し、成長して学生や大人になってもセンターは地域の絆を広げる身近な交流活動拠点として位置づけられていることを強く感じました。研修を通して、地域の子供は地域で大事に育てることにより、ふるさと鳶巣を愛する心に繋がっていると確信しました。地域の方々がふれあうことで、みんなが「地域のために」という熱い思いを醸成させていくという重要な役割をセンター職員の皆様が担い、実践されている姿を見て、本当にすばらしいと感じました。

この研修で得た経験と出会いを大切に、今以上に地域の活動に目を向け、協力ができるようにしていきたいと思います。

鳶巣地区とセンターの皆様が今度も益々ご活躍されますことをお祈り申し上げます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

今回コミュニティセンターの方々にはお世話になりましたが、この研修を通して貴重な体験をすることができ大変感謝しています。この研修への参加者が多くなるように、もっと職員に紹介すべきだと思います。

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。